

|                          |  |             |          |
|--------------------------|--|-------------|----------|
| 1. 科目名 (単位数)             | 専門演習 I C (経営福祉関連研究) (2 単位)   | 3. 科目番号     | SSMP5203 |
| 2. 授業担当教員                | 岡田 広司、城田 吉孝、平 仁、田口 典男、田中 正秀  |             |          |
| 4. 授業形態                  | 資料の輪読、学生の発表に基づくディスカッション  | 5. 開講学期     | 通年       |
| 6. 履修条件・他科目との関係          | 履修条件は特になし  | 履修形態 (通信教育) |          |
| 7. 講義概要                  | 各教員がテーマを持ちより、1 回目に資料を輪読させ、教員より当該テーマの概要を解説する。2 回目までにグループごとに、当該テーマの解決すべき課題、先行研究が検討してきた内容を明らかにした上で、何をすべきかを発表する。3 回目は 2 回目の発表を受けてグループディスカッションを行い、修士論文作成に向けての実践的トレーニングを行う。  |             |          |
| 8. 学習目標                  | 指導教授が決定した後の課題研究において、自己の調査研究のテーマを自発的に発見し、解決すべき課題を発見できるようになる。  |             |          |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | 随時講義中に行う。  |             |          |
| 10. 教科書・参考書・教材           | 【教科書】<br>共通のテキストはないので、各教員からの指示に従うこと<br>【参考書】<br>各テーマに記載された参考文献を参考書として用いるので、各教員からの指示に従うこと   |             |          |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法        | ○成績評価の規準<br>1. 修士論文に向けたリサーチクエスチョンに関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。<br>2. リサーチクエスチョンを解決する思考が身についたか。<br>3. 出席しているだけでなく発言等参加をしているか。<br>○評定の方法<br>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。<br>1 授業への積極的参加 総合点の 70%<br>2 課題レポート 総合点の 20%<br>3 出席 総合点の 10% |             |          |
| 12. 受講生へのメッセージ           | 講義は「参加」することが大事である。特に修士論文完成に向けた基礎となるので、積極的に発言を求める。  |             |          |
| 13. オフィスアワー              | 別途通知する   |             |          |
| 14. 学習の展開及び内容            | 【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】   |             |          |
| 1. テーマ                   | ガイダンス、調査・研究を始めるにあたって (平)   |             |          |
| 【学習の目標】                  | 修士論文を書くためにやらなければならないことを理解する  |             |          |
| 【学習の内容】                  | 大学院要覧記載の修士論文の手引き (社会福祉学専攻) に書いてある内容を理解し、本学において何を研究するか、自己の研究テーマについて、何を明らかにしたいのか、どのような先行研究がなされているのかを自発的に学習する意識を持たせる。   |             |          |
| 【キーワード】                  | エビデンス、先行研究、文献調査、実証研究、研究課題  |             |          |
| 【学習の課題】                  | 自己の研究課題を見つけ、文献調査を始めることができる   |             |          |
| 【参考文献】                   | 大学院要覧 (2019 年度版では p116~p123)   |             |          |
| 【学習する上での留意点】             | 大学院要覧を事前に読んでおくこと   |             |          |
| 2. テーマ                   | 論文を書くということとはどのようなことなのか、論文の作法 (平)   |             |          |
| 【学習の目標】                  | 論文を書くための前提となるルールを理解する  |             |          |
| 【学習の内容】                  | 論文を書くための形式、引用・注・参考文献等のルールを理解する   |             |          |
| 【キーワード】                  | 問題設定、調査・資料収集、議論・検討、合理的な根拠づけ、引用、注、参考文献  |             |          |
| 【学習の課題】                  | ・ 自己の研究課題における問題設定を明確にする。<br>・ 引用、注、参考文献の使い方を理解する   |             |          |
| 【参考文献】                   | 小林康夫・船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会 1994、p211~p233   |             |          |
| 3. テーマ                   | 口頭発表の作法と技法、テクノロジーの利用、調査の方法 (平)   |             |          |
| 【学習の目標】                  | ・ プレゼンテーション資料をどのように作成すればよいかを理解する。<br>・ 参考文献等をどのように探せばよいかを理解する。   |             |          |
| 【学習の内容】                  | ・ 限られた時間の中で自己の主張の要点を理解してもらおうための発表レジユメの構成<br>・ 参考文献の探し方 (図書館、書店、インターネット)、フィールドワーク、アンケート調査   |             |          |
| 【キーワード】                  | 口頭発表 (プレゼンテーション)、質疑応答 (ディベート)、レジユメ、文献調査、鑑賞と見学、フィールドワーク、社会調査 (サーベイ)、実験  |             |          |
| 【学習の課題】                  | プレゼンテーションの準備ができる、参考文献を探せる  |             |          |
| 【参考文献】                   | 小林康夫・船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会 1994、p234~p267<br>小林康夫・船曳建夫編『知の論理』東京大学出版会 1995、p287~p304 (配布のみ)  |             |          |
| 4. テーマ                   | 福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(1) 演習を始めるにあたって (岡田)   |             |          |
| 【学習の目標】                  | 社会福祉施設 (高齢者介護、障害者介護など)、及び福祉産業 (バリアフリー用具、介護サービスロボットなど) の事例を取り上げた資料を輪読し、研究テーマ選択のための知識を深める。   |             |          |
| 【学習の内容】                  | 高齢者介護施設 (特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど)、身体障害者施設 (授産施設、介護施設など) 及び福祉産業の事例を取上げ、ディスカッションを通して研究テーマの方向性を明確にする。   |             |          |
| 【キーワード】                  | 研究テーマの探究、福祉施設経営、バリアフリー、福祉機器  |             |          |
| 【学習の課題】                  | ・ 施設経営及び福祉産業の事例を通して、自己の研究課題の設定を参考にする。<br>・ 事例を通して経営福祉領域に係わる研究の関連性を理解する。<br>・ 組織経営、製品開発についての研究のあり方を理解する。  |             |          |
| 【参考文献】                   | 福祉臨床シリーズ編集委員会編『福祉サービスの組織と経営』弘文社、2017。<br>岡田広司著『商品開発とビジネス戦略』あるむ、2009。   |             |          |

|              |  |
|--------------|--|
|              | 【学習する上での留意点】 これまで学習した 1.テーマ～3.テーマを復習して修士論文の考え方を理解しておく。   |
| 5. テーマ       | 福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(1) の演習 (個人発表とグループ編成・岡田)   |
| 【学習の目標】      | ケーススタディ(1)を通して経営福祉領域に関する研究を理解する。   |
| 【学習の内容】      | ケーススタディ(1)の学習を通して得られた関心のある研究課題の提起とグループ編成とグループ内での討論   |
| 【キーワード】      | 研究課題の提起、福祉施設経営と企業経営、グループ編成   |
| 【学習の課題】      | ・ケーススタディ(1)を通して自己の研究課題の提起と発表手法<br>・発表内容 (テーマを選んだ事由、解決する課題、先行研究の検討、解決手段と根拠など) のまとめ<br>・社会福祉経営と企業経営論との関連 |
| 【参考文献】       | 社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向 2020』中央出版、2019.<br>岡田広司著『現代マネジメント概論』あるむ、2011.                                    |
| 【学習する上での留意点】 | これまで学習した 1.テーマ～4.テーマを理解しておく。   |
| 6. テーマ       | 福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(1) の演習 (グループディスカッションと発表・岡田)   |
| 【学習の目標】      | 経営福祉領域に関する研究の発表資料のまとめ方と発表手法を習得する。  |
| 【学習の内容】      | グループ内ディスカッションと別のグループの発表に対するディスカッション  |
| 【キーワード】      | 口頭発表、グループディスカッション、発表資料   |
| 【学習の課題】      | ・グループディスカッションの展開能力の習得<br>・社会福祉経営領域研究のプレゼンテーション能力の向上  |
| 【参考文献】       | 社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向 2020』中央出版、2019.  |
| 【学習する上での留意点】 | これまで学習した 4.テーマ～5.テーマとの関連を理解しておく。   |
| 7. テーマ       | 営利企業のマネジメントについて考える (城田)  |
| 【学習の目標】      | 事例研究を通じて営利企業の競争戦略について問題点を発見する。   |
| 【学習の内容】      | 企業の競争戦略について比較検討して違いと課題を発見するため資料を輪読する。  |
| 【キーワード】      | コスト・リーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略   |
| 【学習の課題】      | 事例研究企業の顧客特性、競争状況の展開、環境変化の対応の方法について整理する。  |
| 【参考文献】       | 嶋口・和田・池尾・余田著『マーケティング戦略』有斐閣<br>東北大学経営学グループ著『ケースに学ぶ経営学』有斐閣 2008年   |
| 8. テーマ       | 事例研究：営利企業の競争戦略を説明できる (城田)  |
| 【学習の目標】      | 事例研究企業の競争戦略について討議できる。  |
| 【学習の内容】      | 事例研究の競争戦略をグループでまとめ発表する。  |
| 【キーワード】      | 経営戦略、コスト・リーダーシップ、差別化戦略、集中戦略  |
| 【学習の課題】      | 環境変化による企業の競争対応の課題  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 【学習する上での留意点】 | グループでの討議、プレゼンテーションの方法  |
| 9. テーマ       | 非営利企業のマネジメントの課題 (城田)   |
| 【学習の目標】      | 非営利企業の地域住民への認知状況について討議する。  |
| 【学習の内容】      | 広報活動と市場調査の方法   |
| 【キーワード】      | 地域住民、地域社会、広報、地域住民の認知状況   |
| 【学習の課題】      | 事例研究から非営利企業の組織構造や目的について整理する。   |
| 【参考文献】       | 馬場園『介護福祉マーケティングと経営戦略』日本医療企画 2012年  |
| 【学習する上での留意点】 | 非営利企業のマネジメントの特異性について理解しておく。  |
| 10. テーマ      | 労働と生活についてのプレゼンテーション (田口)   |
| 【学習の目標】      | 労働と生活の関連を説明できる。  |
| 【学習の内容】      | 労働と生活の連鎖を理解し、働くことの意味を考える。  |
| 【キーワード】      | 貧困の再生産、最低賃金、生活保障   |
| 【学習の課題】      | 「人間らしい生活」するために必要な条件を検討する。  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 11. テーマ      | 社会保険の仕組みについてのプレゼンテーション (田口)  |
| 【学習の目標】      | 社会保険の仕組みを説明できる。  |
| 【学習の内容】      | 二重の性格をもつ社会保険についてディスカッションする。  |
| 【キーワード】      | 社会保障、社会保険、年金、介護  |
| 【学習の課題】      | 社会保障関連資料・文献を検討する。  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 12. テーマ      | 医療保障と医療保険についてのプレゼンテーション (田口)   |
| 【学習の目標】      | 医療保険制度の仕組みを説明できる。  |
| 【学習の内容】      | 医療保険制度の仕組みを理解し、課題を見つける。  |
| 【キーワード】      | 社会保険、医療保険、所得に応じた保険料  |
| 【学習の課題】      | 医療保険制度の解決すべき課題を検討する  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 13. テーマ      | 論文のまとめ方 (前半総括 1 田中)  |
| 【学習の目標】      | 春期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。   |
| 【学習の内容】      | これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際のテーマ設定をトレーニングする。  |
| 【キーワード】      | 理屈・理論・リサーチクエスト   |
| 【学習の課題】      | 報告書と論文の違いを理解する。  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 14. テーマ      | 論文のまとめ方 (前半総括 2 田中)  |
| 【学習の目標】      | 春期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。   |
| 【学習の内容】      | これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の理論構築をトレーニングする。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 【キーワード】      | 理屈・理論・リサーチクエスチョン   |
| 【学習の課題】      | 報告書と論文の違いを理解する。  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 15. テーマ      | 春期のまとめ（前半総括3 田中）   |
| 【学習の目標】      | 春期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。   |
| 【学習の内容】      | これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の全体像のまとめ方をトレーニングする。   |
| 【キーワード】      | 理屈・理論・リサーチクエスチョン   |
| 【学習の課題】      | 報告書と論文の違いを理解する。  |
| 【参考文献】       | 授業において指示する。  |
| 16. テーマ      | 量的調査と質的調査（平）   |
| 【学習の目標】      | 社会調査における量的調査と質的調査の違いを理解し、自己の調査研究においてはいずれの方法が適しているのかを判断できる。   |
| 【学習の内容】      | 社会調査の意義・目的を理解する。社会調査における量的調査と質的調査の違いを理解し、そのメリットとデメリットを理解する。調査テーマや仮説を構成する質問票を作成するための方法を理解する。  |
| 【キーワード】      | 社会調査、問題意識、ラポール、倫理規定、量的調査、質的調査、世論調査、マーケティングリサーチ、アンケート調査、インタビュー調査、参与観察、フィールドワーク、サンプリング   |
| 【学習の課題】      | 社会調査の意味を理解し、自己の調査研究のための調査票・質問票を作成する  |
| 【参考文献】       | 夏休み明けに指示する   |
| 17. テーマ      | 質的研究におけるインタビュー調査（グループディスカッション・平）   |
| 【学習の目標】      | 自己の調査研究において、エビデンスを得るためのインタビュー調査で何をインタビューすべきかを理解する  |
| 【学習の内容】      | 前回の資料に基づき、インタビュー調査をする際に何を聞きだすべきか、グループディスカッションの上で、検討する  |
| 【キーワード】      | 質的調査、ブレインストーミング、KJ法、魚の骨型展開法、インタビュー調査、質問票   |
| 【学習の課題】      | インタビュー調査をする際に、聞きださなければならないことを発見できるようになる  |
| 【参考文献】       | 夏休み明けに指示する   |
| 18. テーマ      | 量的研究におけるアンケート調査（グループディスカッション・平）  |
| 【学習の目標】      | 自己の調査研究において、アンケート調査によってエビデンスを得られるようなアンケート票をどのように作成するのかを理解する  |
| 【学習の内容】      | 前々回の資料に基づき、アンケート調査を行う場合にサンプル数をどのように集めるのか、尺度をどのようなものとするのか、独立変数と従属変数は何にするのか、統計学を利用するのは何故か、等を理解し、アンケートについてのグループディスカッションを行った上で、アンケート票をどのように作るべきかを検討する  |
| 【キーワード】      | 名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度、単純集計、度数分布、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフと帯グラフ、ヒストグラム、クロス集計、相関関係、因果関係、独立変数、従属変数   |
| 【学習の課題】      | アンケート調査の際に、有効なアンケート票を作成できるようになる  |
| 【参考文献】       | 夏休み明けに指示する   |
| 19. テーマ      | 福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(1) の社会調査・演習にあたって（岡田）  |
| 【学習の目標】      | 前出のケーススタディ(1)と同じ研究領域の事例について演習する。前出の16.テーマ「量的調査と質的調査」との関連をケーススタディ(1)を使ってディスカッションする。社会福祉施設（高齢者介護、障害者介護など）、及び福祉産業（バリアフリー用具、介護サービスロボットなど）の事例を取り上げた資料をもとに、自己の調査研究においては、いずれの方法が適しているのか判断でき、そのプロセスを構築できる。 |
| 【学習の内容】      | 高齢者介護施設（特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど）、身体障害者施設（授産施設、介護施設など）及び福祉産業の事例を取上げ、ディスカッションを通して研究テーマに関する調査手法を理解する。   |
| 【キーワード】      | 福祉施設経営、福祉産業、社会調査、量的研究、質的研究、ブレインストーミング、カード分析法   |
| 【学習の課題】      | ・施設経営及び福祉産業の事例を通して、自己の研究課題の調査手法設定の参考にする。<br>・事例を通して経営福祉領域に係わる調査研究の関連性を理解する。<br>・組織経営、製品開発、経営管理などについての調査のあり方を理解する。  |
| 【参考文献】       | 福祉臨床シリーズ編集委員会編『福祉サービスの組織と経営』弘文社、2017。<br>岡田広司著『商品開発とビジネス戦略』あるむ、2009。   |
| 【学習する上での留意点】 | これまで学習した16.テーマ～18.テーマを復習して社会調査の考え方を理解しておく。   |
| 20. テーマ      | 福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(1) の社会調査（個人発表とグループ編成・岡田）  |
| 【学習の目標】      | ケーススタディ(1)を通して経営福祉領域に関する研究におけるエビデンスを得るための社会調査をインタビュー調査で何をインタビューすべきか、あるいはアンケート調査をどのように進めるかなど、研究方法を理解する。   |
| 【学習の内容】      | ケーススタディ(1)の学習を通して得られた研究課題についてインタビュー調査あるいはアンケート調査をどのように進めるべきか、研究方法をグループディスカッションの上でまとめる。   |
| 【キーワード】      | インタビュー調査、アンケート調査、個人発表、グループ編成、グループディスカッション、   |
| 【学習の課題】      | ・ケーススタディ(1)を通して自己の研究調査手法と分析法を理解する。<br>・研究方法（研究の対象、調査・研究のデザイン、データの収集方法、解決手段と根拠など）のまとめ   |
| 【参考文献】       | 社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向2020』中央出版、2019。<br>岡田広司著『現代マネジメント概論』あるむ、2011。   |
| 【学習する上での留意点】 | これまで学習したテーマ16～19を理解しておく。   |
| 21. テーマ      | 福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(1) の研究（グループディスカッションと発表・岡田）  |
| 【学習の目標】      | 別なグループの発表に対するグループディスカッションを通して、適切な社会調査方法や研究方法を選択する力を得ると共に、研究の論理展開方法の理解を深める。   |
| 【学習の内容】      | ケーススタディ(1)を通して調査してまとめた他のグループ発表に対して、グループディスカッションすることにより、社会調査などの研究の方法を理解する。  |
| 【キーワード】      | 口頭発表、発表資料、研究方法、プレゼンテーション   |
| 【学習の課題】      | ・調査、研究のデザイン、データ収集方法の理解<br>・調査能力、データ分析方法の理解<br>・社会福祉経営領域研究のプレゼンテーション方法の習得   |
| 【参考文献】       | 社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向2020』中央出版、2019。   |

|  |   |
|--|---|
| <p>岡田広司著『マーケティング理論と市場戦略』あるむ、2007。<br/> <b>【学習する上での留意点】</b> これまで学習した19.テーマ～20.テーマとの関連を理解しておく。</p> |   |
| 22. テーマ  | <p>営利企業と非営利企業のマネジメントについて考える (城田)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 営利企業と非営利企業のマネジメントの違いについて説明できる。<br/> <b>【学習の内容】</b> 営利企業と非営利企業の組織の特徴についてグループ内で討論する。<br/> <b>【キーワード】</b> 消費者、利用者、企業目的、社会責任・社会貢献のマーケティング、コーズリレーテッドマーケティング<br/> <b>【学習の課題】</b> 非営利企業のマーケティング活動の問題について考える。<br/> <b>【参考文献】</b> 和田・恩蔵・三浦『マーケティング戦略』有斐閣<br/> <b>【学習する上での留意点】</b> 営利企業・非営利企業の目的、理念について整理する。</p>   |
| 23. テーマ  | <p>企業のガバナンスについて考える (城田)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 営利企業と非営利企業のガバナンスの違いについて説明できる。<br/> <b>【学習の内容】</b> 営利企業と非営利企業のマネジメントの問題についてグループで討論する。<br/> <b>【キーワード】</b> 非営利企業の特異性、製品・サービス、ガバナンス、アカウンタビリティ、コンプライアンス<br/> <b>【学習の課題】</b> 非営利企業のサービス、特異性、ボランティアのマネジメントについて整理する。<br/> <b>【参考文献】</b> 田尾・吉田『非営利組織論』有斐閣<br/> <b>【学習する上での留意点】</b> 営利企業と非営利企業の目的と意思決定機関の相違について整理しておく。</p> |
| 24. テーマ  | <p>営利企業と非営利企業のマネジメントの課題 (城田)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 株式会社と社会福祉法人のマネジメントの特徴を説明できる。<br/> <b>【学習の内容】</b> 株式会社の会社機関と社会福祉法人の組織構造について、違いと問題点を討議する。<br/> <b>【キーワード】</b> 組織の目的、株主総会、社員総会、利益の配分<br/> <b>【学習の課題】</b> どうしたら企業の不祥事をなくせるか、問題点を整理する。<br/> <b>【参考文献】</b> 授業時に指示する。<br/> <b>【学習する上での留意点】</b> 株式会社の所有・経営・支配と社会福祉法人の組織構造について整理する。</p>                               |
| 25. テーマ  | <p>介護保険の仕組みについてのプレゼンテーション (田口)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 介護保険の仕組みについて説明できる。<br/> <b>【学習の内容】</b> 介護保険と社会福祉について理解する。<br/> <b>【キーワード】</b> 家族介護、社会的介護、行政<br/> <b>【学習の課題】</b> 介護保険の仕組みと課題を確認する。<br/> <b>【参考文献】</b> 授業において指示する。</p>   |
| 26. テーマ  | <p>公的年金の仕組みについてのプレゼンテーション (田口)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 公的年金の仕組みを説明できる。<br/> <b>【学習の内容】</b> 公的年金の目的と仕組みを理解する。<br/> <b>【キーワード】</b> 国民年金、障害年金、遺族年金<br/> <b>【学習の課題】</b> 日本の公的年金制度の課題をプレゼンテーションできる。<br/> <b>【参考文献】</b> 授業において指示する。</p>   |
| 27. テーマ  | <p>生活保護制度の課題についてのプレゼンテーション (田口)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 公的扶助としての生活保護制度の機能を説明できる。<br/> <b>【学習の内容】</b> ナショナル・ミニマム機能としての生活保護制度を理解する。<br/> <b>【キーワード】</b> 公的扶助、生活保護制度、ナショナル・ミニマム<br/> <b>【学習の課題】</b> 生活保護制度の課題を検討する。<br/> <b>【参考文献】</b> 授業において指示する。</p>   |
| 28. テーマ  | <p>論文のまとめ方 (後半総括1 田中)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 秋期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。<br/> <b>【学習の内容】</b> これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際のテーマ設定をトレーニングする。<br/> <b>【キーワード】</b> 理屈・理論・リサーチクエスト<br/> <b>【学習の課題】</b> 報告書と論文の違いを理解する。<br/> <b>【参考文献】</b> 授業において指示する。</p>  |
| 29. テーマ  | <p>論文のまとめ方 (後半総括2 田中)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 秋期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。<br/> <b>【学習の内容】</b> これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の理論構築をトレーニングする。<br/> <b>【キーワード】</b> 理屈・理論・リサーチクエスト<br/> <b>【学習の課題】</b> 報告書と論文の違いを理解する。<br/> <b>【参考文献】</b> 授業において指示する。</p>   |
| 30. テーマ  | <p>演習のまとめ (田中)</p> <p><b>【学習の目標】</b> 全体の講義の内容を基にして、論文へのまとめ方を整理する。<br/> <b>【学習の内容】</b> これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の全体像のまとめ方をトレーニングする。<br/> <b>【キーワード】</b> リサーチクエスト<br/> <b>【学習の課題】</b> 修士論文に向けた基本形の完成<br/> <b>【参考文献】</b> 授業において指示する。</p>   |